

発行：港区議会議員 阿部 浩子
住所：港区麻布十番 2-4-1-201

TEL/FAX： 03-3452-2028 E-mail：info@hiroko-abe.com
URL：http://www.hiroko-abe.com

港区議会議員(立憲民主党) ひまわり通信

あ ベ ひろ こ

阿部 浩子

命と暮らしを最優先!!

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって昨年はどのような1年だったのでしょうか。

新型コロナのワクチンの接種は行われていますが、まだマスクを外して安心して普段通りの生活ができるわけでもありません。今年こそはコロナが終息してほしいと願うばかりです。

昨年2月に、ロシア連邦はウクライナへの軍事攻撃を開始し、多くの市民の死傷者をだしています。この戦争は今もまだ終わっていません。武力では何も解決しないことを私たちは過去の戦争から学んでいるはずです。

さて、岸田政権は、防衛費予算を大幅に拡大するとされています。しかし、日本は今、賃金は上らず、物価高、円安に苦しんでいます。日本の最優先すべき課題は軍備の拡大ではなくは少子高齢化等への対応です。

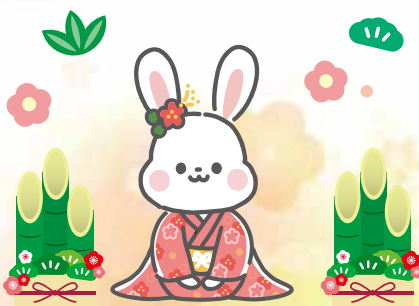
同一労働同一賃金などの安定した雇用の確保です。すべての人が支えあう社会、豊かさをわかちあう社会を一日も早くつくっていかねば、格差の拡大がさらにすすんでしまいます。

今年こそは希望に満ち溢れる一年になってほしい、争いのない平和で穏やかな年になってほしいと願っています。

私はこれからも、区民の皆さんの命と暮らしを守っていくことを最優先に活動をしていきます。

2023年は誰もが安心して暮らすことができる港区をつくるため全力で頑張ります。

今年は皆様にとって夢と希望がもてる1年になってほしいと思います。



2023年1月

阿部 浩子



阿部浩子の議会報告

令和4年度の特別区民税当初課税額は、前年度比138億円6,836万4千円の増。給与所得が1兆2,532億円、株式分離譲渡所得は5,315億円で、給与所得の半分に近い。一方、港区では税収が増加していても区民の半数が大変厳しい状況で生活しています。ふるさと納税の区民税収入の影響額は一昨年度が約41億円、昨年度は63.6億円。港区はふるさと納税の影響が毎年大きくなっています。そのため、あらゆる手法での財源確保が必要です。そして、物価の高騰で影響を受けている区民に、より一層の支援をしていくことが区の役割だと思っています。そのことを踏まえ、武井区長に本会議で質問しました。



■コロナ禍で困窮している子育て支援の拡大を

○就学援助の拡大について

質問：港区の就学援助は、区立・都立・国立の小中学校、特別支援学校のみ対象。私立学校まで拡大すべき。

答弁：コロナや物価高騰などの影響をうけている区民もいる。就学援助の支給対象範囲の拡大の必要性について検討していく。



来年度から私立小中学校へも拡大します。

○学校給食の無償化を

質問：少子化が加速する中、子育て支援の一環としてすべての子ども達に区の責任で学校給食の無償化をすべき。

答弁：港区は区独自に学校給食の無償化は考えていないが、国の責任において無償化を実施するよう要望すると共に、他自治体の状況、国の動向について情報収集していく。

■18歳までの子どもたちへの支援を

○ユースクリニックの設置について

質問：思春期特性の悩みを相談する場所、性について、また自分の身体を大事にする視点からもユースクリニックの設置が必要である。

答弁：中高生の悩みが気軽に相談でき、適切な助言ができるよう、相談しやすい場所などのアンケート調査を実施し、実態を把握し、調査の結果も踏まえ、ユースクリニックを含めた相談体制について検

討していく。

○ヤングケアラーやひとり親世帯の子どもへの支援について

質問：ひとり親世帯の子ども、親や兄妹のお世話をしているヤングケアラーに対して、理美容サービスを提供することにより、衛生上やほっとできる時間の確保、また、自己肯定感にもつながる。現状の高齢者・障害者の理美容サービスを区としてひとり親世帯の子ども達へ支援の拡大をすべき。

答弁：現在実施しているヤングケアラーの実態調査やひとり親世帯の実態把握を踏まえ、ひとり親世帯への支援を総合的に検討し、課題としていく。

質問：ヤングケラーの家事負担をなくしていくために、家事支援サービスを高校生の世帯まで拡大を。

答弁：ヤングケアラー実態調査をふまえ、家事支援も含め総合的に検討する。



■港区から文化芸術の発信について

質問：港区文化芸術ホールが令和9年6月に開館予定。港区は江戸時代からの歴史ある地域でもある。多様な国籍の外国人も多く住んでいる。港区の文化芸術の機運醸成のために、日本の伝統芸能、例えば「邦楽邦舞などのコンクール」を港区で行い、日本の和の文化を日本国内、海外にも発信し、若い世代を育成して



いく必要がある。

文化芸術を通じた多様性を認め合う共生社会の実現にもなかるのではないかな。

答弁：今後文化芸術ホールの開館に向けた機運醸成事業などにおいても、多様な文化芸術を港区から積極的に発信していく。

■羽田空港都心ルートについて

質問：この夏、都心ルートに初めて搭乗した。間近に見える区の景色に不安と恐怖を感じた。都心ルートの下に住んでいる、港区民にとって騒音や落下物の危険性があり、不安な日々を過ごしている。今後さらに、便数が増えていく状況について区長の考えは。

答弁：運航便数が増加に伴い、区民の不安な声が増えていくと考える。引き続き、国に対し、海上ルートの活用や地方空港の活用等による飛行ルートの分散化などにより、固定化回避の検討を迅速に行うよう強く求めていく。

■産業振興センターについて

質問：2022年4月に札の辻に産業振興センターがオープンしたが、館内のWi-Fi環境が悪い、利用者カードや代金支払いも電子化が進んでいない、利用者視点にたっておらず使いにくいなど30件以上寄せられていた意見が放置され改善にいたっていない。区が目指している未来発展型の産業振興拠点になるために一日も早く目的にみあった施設に改善すべき。

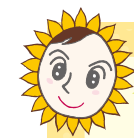


答弁：利用者の声を区と指定管理者で共有し、施設の利便性やスタッフの専門性の向上など運営の改善に取り組んでいく。

■動物愛護について

質問：港区で地域猫活動をしている方々とネットワークを構築し、互いに活動しやすくするために区が支援をすべき。

答弁：ボランティア同士が対面で交流できる機会を増やし、ボランティアがより活動しやすいネットワークの充実に取り組んでいく。



阿部浩子の提案が実現しました

- すべての子ども1人当たり50,000円
3月までに支給
- 子ども医療費無料化
18歳高校卒業までに拡大 4月開始
- 就学援助費
私立小中学校へ拡大 4月開始
- 带状疱疹ワクチン助成
生ワクチン6,500円、
不活化ワクチン15,000円×2回分
1月開始

郵便はがき

料金受取人払

芝局承認

2137

差出有効期間
2023年3月
31日まで
(切手不要)

1068790

024

港区麻布十番2-4-1-201

阿部 浩子 行



(ふりがな)		連絡できるお電話番号
あなたのお名前		
ご住所	〒 港区	
メールアドレス		@

※お名前をご記入いただければ嬉しいです。ご協力をお願いします。



阿部浩子からのお知らせ



- 私が副理事長を務めるNPO法人
みなと子ども食堂は、全国最大の
政策コンテストであるマニフェスト
大賞で、3133件の応募の中から
特別審査委員賞を受賞しました。



「フードパントリー事業を通じて見えてきたもの～生活困窮世帯の子ども達へ食品だけではなくひとり一人に真に必要な支援とは～」。昨年は新たに新学期に上履きや下着、文房具等をお配りしたことが評価されました。また、12月から学習支援をはじめました。

今後もこの活動を通じて真に困っている子ども達を支援していきます。

- NPO法人みなと子ども食堂の活動

港区に住むひとり親世帯（児童扶養手当受給）は約750世帯のうち、200世帯がみなと子ども食堂のフー

ドパントリーを利用しています。

物価高に伴い生活がより厳しくなったとの声が昨年よりさら増えています。

お米、野菜、果物、お惣菜、乾麺、レトルト食品、お菓子、様々な食材等、また、現金等をご協力をお願いいたします。

ご寄付いただける方はこちらから

その他電話でのお問い合わせ
080-7960-0207



港区政に関してのご意見・ご要望・ご質問・
お困りごと等、みなさんの声を聞かせて下さい。

ご連絡させていただく場合は、 メール ・ 電話（ ～ 時）

- 「ひまわり通信」を多くの方に読んでいただきたく、
港区のお知り合いの方をご紹介します。

お名前（ふりがな）	ご住所	電話番号
	〒 港区	
		ご関係

- 「ひまわり通信」を郵送でご希望の方は、郵送希望に○印をお願いします。

郵送希望

- この通信はどこから届きましたか？ ご協力をお願いします。
新聞折込（新聞）・ポスティング・郵送

（キリトリ線）



●11/23 毎日新聞の朝刊に掲載されました。



阿部浩子プロフィール



- 港区議会議員（第46代港区議会副議長）
- 東京2020大会レガシー特別委員会副委員長
- 総務常任委員会所属
- S43.2.7生、秋田県出身
- 昭和女子大学短期大学部食物科学科卒業、秋田テレビ株式会社、老人保健施設（栄養士）、衆議院議員秘書、2003年初当選、現在5期目
- 栄養士、東京都動物愛護推進員、麻布消防団員、防災士、温泉ソムリエ
- NPO法人みなと子ども食堂副理事長
- 家族：夫、娘（高校1年）

ホームページ

阿部浩子

検索

